

令和2年度行政評価に係る外部評価意見概要

令和2年8月19日(水)

① 図書館活動費

- ・令和3年度に向けて、市の図書館の役割と県立図書館の役割を施設の整備を含めて考えていただきたい。
- ・読書手帳における40冊達成時に、記念品等も検討しても良いと思われる。
- ・図書貸出数の減少について、今後の人口減少問題やコロナ禍を踏まえインターネット時代の図書館の在り方を考えていただきたい。また、図書も含め、情報資源を整備していく発想での取組み、他の部署との連携も考えていただきたい。
- ・コロナ禍での新しい生活様式も踏まえ、電子書籍など市民の利益になるように、図書館の活用を考えていただきたい。

② 配水管及び施設の整備

- ・市の負担を考えた時、行政事業で使える金額の内、水道事業に繰入れている金額を把握していただきたい。
- ・今後の対策や評価のためにも、目標の立て方を実質的に考えていただきたい。
- ・水道事業は、旭の将来を揺るがす程の財政問題、今後、全部署を巻き込んで検討する必要があり、コンパクトシティの考え方で議論する事も一例かと思う。長期的視点で考えていただきたい。

③ 防災体制強化事業

- ・自主防災組織の育成・拡充の支援が市の役割であり、実際の災害時にも、自主防災組織が機能するように活動内容や方向性を示していただきたい。
- ・地域の住民に対して、避難所の周知徹底をしていただきたい。
- ・旭市の住民一人当たりの資産金額は県内有数の大きさとなっている。今後、防災資料館の固定的支出が大きな負担となる可能性がある。支出に見合った運営を常に意識していただきたい。